

ひがなつみ活動報告

～本会議・代表質問特集～

VOL. 27

発行元：自由民主党沖縄県参議院比例区第四十一支部

1月29日 本会議で代表質問

第217回通常国会が1月24日に召集され、1月29日の本会議で代表質問を行いました。石破総理大臣から「感銘深く拝聴させていただきました」とのお言葉をいただきました。
(動画はホームページ、X、YouTubeからもご覧いただけます▶)



石破総理大臣より 「生涯を通じた歯科健診の実現」の約束を取り付けました

歯科等での公定価格見直しについて

【比嘉奈津美】

Q：価格変動が大きい材料の利用が不可欠な歯科分野では、物価高騰や貴金上昇に迅速かつ十分な対応ができる制度が必要だと考えます。“適正な価格転嫁がなされること”との考えの下、この問題について総理の所見をお聞かせください。

【石破総理大臣】

A：経済・物価動向などへの適切な配慮が必要と認識しており、歯科用貴金属については3ヶ月毎に公定価格の見直しを行っている。令和8年の診療報酬改定に向け、今後、中央社会保険医療協議会にて議論を進めます。

健康寿命の延伸とQOL 向上一歯科の役割について

【比嘉奈津美】

Q：総理は口腔保健の役割をどう認識していますか？また、「国民皆歯科健診」を推進し、疾患の早期発見・早期治療の促進が重要ではないでしょうか？

【石破総理大臣】

A：歯の健康は口腔内への影響だけではなく、全身の健康にも繋がるものと認識している。また、歯科健診の機会の拡大や、受診率向上の観点から、令和6年度補正予算及び令和7年度予算案に効果的な歯科健診の方法を検証する事業などを盛り込んでいる。生涯を通じた歯科健診の実現に向け取り組んでいく。

妊婦に対する健診制度での歯科健診と受診率の向上

【比嘉奈津美】

Q：妊産婦の歯科健診受診率は全国で35.2%にとどまり、地域差も大きく、一部では10%未満です。妊娠中の口腔トラブルは早産や胎児の成長に影響を及ぼす可能性があり、妊婦健診同様に受診を促進すべきです。国としてどのように後押ししていくのか？三原特命担当大臣にお伺いします。

【三原特命担当大臣】

A：妊産婦健診の受診率の向上を図るため、妊産婦の歯科健診保健指導受診率に係る目標を設定し、普及啓発活動を推進していく。

子どもの貧困の解消と教育支援、歯科健診

【比嘉奈津美】

Q：子どもの相対的貧困率は11.5%で、教育や医療機会の格差が将来の所得格差につながる深刻な問題です。政府は支援員配置や歯科保健指導を進めていますが、格差の拡大を防ぐための“教育無償化や歯科健診の強化”が重要ではないでしょうか？総理の所見をお伺いします。

【石破総理大臣】

A：歯科健診・歯科保健指導などの推進を図るとともに、乳幼児の歯科健診などの機会を活用し、子供の健康状態や虐待の恐れなどを把握して、必要な支援を行っていく。

大規模災害時の歯科医療提供体制の整備

【比嘉奈津美】

Q：避難所の衛生環境が悪化すると、口腔内細菌の増殖が誤嚥性肺炎を引き起こし、災害関連死につながります。被災地ではJDATなどの歯科専門職が活躍していますが、大規模災害時の歯科医療体制の整備について総理のご認識をお伺いします。

【石破総理大臣】

A：被災された方々の避難所での歯科保健医療の確保は極めて重要である。災害時の歯科医療関係者の養成の支援、歯科保健医療活動に必要な車両・器具の整備への支援など、引き続き、歯科保健医療提供体制の確保に取り組む。

災害時の身元確認作業

【比嘉奈津美】

Q：東日本大震災では多くの歯科医が身元確認作業に従事しました。歯は貴重な身元証明となるため、生前の歯科情報のデータベース化が重要ではないでしょうか？総理の所見をお聞かせください。

【石破総理大臣】

A：歯科所見の記録の標準化と身元確認に活用可能なデータベースの在り方について、政府全体の医療DXの取り組みも踏まえての具体的な検討を進め、身元確認における歯科診療情報の活用を図る。